

令和3年度第1回前橋市食育推進会議（書面） 質問及び意見への回答

（議事1） 令和3年度上半期食育実績シート

意見・質問あり

| No. | 委員名 | ご質問等 | 回答 |
|-----|-----|---|--|
| 1 | 委員 | コロナ禍の中、各課において工夫を重ねながら活動をされている状況が実績としてよく分かりました。十分活動をされていると思います。 | （健康増進課）今後も状況に応じた食育の取組を推進していきます。 |
| 2 | 委員 | 今年度の上半期の実績シートの目次を拝見しましたが、実に多くの事業を計画していただいていることに改めて驚きました。どの事業もコロナ禍によって参加人数が少なく、たいへん残念なことでした。下半期、あらゆるライフステージに向けて60の事業が、滞りなく実施されることを願っております。さらに市民の皆さんへの広報活動が活発になることを期待しています。 | |
| 3 | 委員 | コロナ禍での対応ご苦労様です。リモートを利用した取り組みで野菜が必要なんだという情報発信が子ども達に伝わったかと思われます。できればPTAの方々に文章でなく、説明会等の場面で、話す機会を設けていただけると良かったです。 | （教育委員会総務課）全ての学校ではありませんが、以前は、学校が開催する保護者の方を対象とした給食の試食会時に学校栄養職員が外向き説明を行うなどしていましたが、現在は新型コロナウイルス感染症対策としてPTA行事の開催が見送られており、直接説明する機会を設けることは難しい状況です。今後、学校現場でPTA行事が再開されましたら、そういった場を再開できるよう努めていきます。 |

| | | | |
|---|----|---|--|
| 4 | 委員 | <p>食育事業についての取組はすごいと思った。その実績シートを見て、高齢者に日頃注意した取り組みの中で、飲み込む力が衰えることで食物がつかえるようなことが起こるらしいですが、そのような機能を高める講座などもあると良い。</p> | <p>(長寿包括ケア課)オーラルフレイル(お口の衰え)を予防する「噛む力をはぐくむ教室」や、口腔機能の低下がみられる高齢者を在宅で介護している家族を対象に介護食の作り方や工夫について、また、誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアについて講話を行う「介護食講習会」を実施しています。また、老人福祉センターへ歯科衛生士や管理栄養士が出向き、体操の合間に口腔機能の低下を予防するための健康教育を行っています。引き続き、教室や講座などで、フレイル予防に取り組んでいきます。</p> |
| 5 | 委員 | <p>新型コロナウイルスに影響が拡大している中、各課の皆さんが工夫されながら食育事業を実施されていると実感しました。</p> <p>集合型など、人が集まることが制限されることで、実施が難しい事業もありますが、オンライン教室、動画配信、SNSなどを昨年度に引き続き実施されていました。</p> <p>動画配信やSNSを活用することで、新たな市民、若年層との接点も生まれると思います。</p> <p>民間でも、このコロナ禍の経験を活かし、オンライン、オフラインについて、状況に応じて対応していくところが多いと聞いています。</p> <p>仮に、新たなサービスとして、コロナ禍の影響が少なくなったとしても、オンライン、オフラインを活用していくのはいかがでしょうか。</p> <hr/> <p>クッキング動画を視聴させていただきました。わかりやすく制作されていると思います。一つ気になったことは、説明について、音声に吹き込みの方が、視聴しやすいかなと思いました。文章を追っていくと同時に音声があればより分かりやすいと思います。</p> | <p>(健康増進課) オンラインの活用はコロナ禍における対面リスクを避けるだけでなく、市民にとって会場への移動が不要になる等の利点がありますので、オンラインとオフラインの活用は今後も継続して実施していきたいと考えています。</p> <hr/> <p>(健康増進課) 説明文章における音声の吹き込みは、今後検討していきます。</p> |

| | | |
|------|--|---|
| 6 委員 | <p>1. 「生涯健康なからだをつくる」の事業実績について</p> <p>最も重要なテーマだと思います。各事業内容を見ると、知識を伝授する形式の事業割合が多いように見えます。行動の変化→意識の変化という手法も現実的だと思うので、より行動変化をもたらす事業を増やせると良いのではないかと思います。</p> | <p>(健康増進課) 行動変化につながるよう事業を工夫していきます。</p> |
| | <p>2. 「豊かなところをはぐくむ」の事業実績について</p> <p>重要なテーマだと思います。各事業がそれぞれの方向性をもっているように思えたので、各事業間の横の連動性を高めると良いと思いました。</p> | <p>(健康増進課) 基本目標を達成するために、庁内関係課で組織する食育ワーキンググループを通して連携し、事業が連動できるよう取り組んでいます。</p> |
| | <p>3. 「地域の食文化を伝える」の事業実績について</p> <p>物流が高度に発達した現代においては、前橋に限らず、日本どこでも食べたいものが食べられるようになっており、地域特有の食文化はかなり希薄化しているように思います。地域の食文化を伝えることの難しさが分かる事業実績シートでした。その中でT-1グランプリのようなイベントは知名度も高いため、一定の効果があるように思えます。コロナ対策との両立が課題だとは思いますが。</p> | <p>(健康増進課) 地域の食文化を伝える取組の一つとして、「食べようまえばし～管理栄養士おすすめ地産地消レシピ～」を農政課と連携し作成しました。従来の方法でのイベントや郷土料理の講習等が難しい状況ですが、人数を制限したり、情報発信など、状況に応じ工夫して実施していきます。</p> |
| | <p>4. 「食の安全・安心をまもる」の事業実績について</p> <p>重要なテーマだと思います。食品衛生講習会ですが、コロナ禍のためZoom開催とのことで、とても良いと思います。ただ、せっかくリモート講習をやるのであれば、参加者19名は少なく、もっと告知をして多くの人に参加してもらえるとさらに効果的だと思います。また、動画を公開できるのであればHPなどで視聴できるようにすると、その時間に参加できなかった市民も講習内容を学ぶことができるので、ご検討いただければと思います。</p> | <p>(衛生検査課) 今回の講習会は、市内施設からの講師依頼により開催したものであったため、告知や動画の公開はできませんでした。市民向けに開催する講習会では、動画等の活用を検討していきます。</p> |

| | | | |
|---|----|---|---|
| 7 | 委員 | <p>1歳半健診など健診は他の事業と比べ多くの方が利用する事業で食育を広げる大きなチャンスに感じます。私自身も健診時の栄養、おやつ指導などとてもありがたかったです。その際に何を食べたら良いのかは、よく理解できましたが、何を食べるかと同じくらい何を食べないかという視点もとても大切で、そういう指導ももっと具体的にあってもよいのではと感じます。</p> <p>添加物、加工肉、マーガリンなど日本のスーパーで売られているもの、正直悪いものであふれています、教えていただくと子どもの食事を作るお母さんたちの目は少し変わるのかもしれない。</p> <p>はじめての離乳食、動画配信とても良いです。</p> | <p>(子育て支援課) 食の安全・安心に関する情報はチラシを掲示したりして周知に努めています。また、共働き世帯が増えるなど生活様式の多様化に伴い、調理済食品や加工品などを利用する保護者の方は増えていると感じます。栄養相談では食品を購入する際の注意点や選び方、食品の組み合わせ方などもお伝えするようにしています。今後も手軽に作れる料理やおやつなどの紹介もしながら、食品を選んで使えるように支援をしていきます。</p> |
|---|----|---|---|

(議事2) 食育に関する市民意識調査について
意見・質問あり

| | | | |
|---|----|--|--|
| 1 | 委員 | <p>第4次前橋市食育推進計画の策定にあたり、現状を把握するため、新たに3,000人を調査対象に加え、約7,000人としたことは、次期推進計画の取組への関係者様の熱意の表れだと思います。</p> <p>対象者内訳を拝見しますと③の専門・短大・大学生の項目が全体の約3分の1を占めており、高い比率となっています。まさに今コロナ禍を経て将来を担う若い世代の食の動向が気になるところです。調査内容にコロナ禍前後の食生活の変化を把握するための項目を設定していただいたことで、今後ますます注目していく指標になると思われます。今回からWEB回答が可能となったとのことですが、たいへんよかったです。</p> | <p>(健康増進課) 今回実施しました食育に関する市民意識調査では、専門学校・短大・大学の学生の対象枠を設けました。「将来を担う若い世代」を対象とした食育の推進は重点的に取り組むべき課題です。自分の身体の健康を自分で守ることができるよう、食生活等の実態を把握、分析し、次期計画に反映していきます。</p> |
| 2 | 委員 | <p>調査結果を基に、傾向や食における社会的課題や実態を把握できればと思います。</p> | <p>(健康増進課) 上記と同様になりますが、栄養・食生活に関する課題を明らかにし、次期計画策定に反映していきます。市民意識調査結果は今年度中にまとまる予定です。</p> |
| 3 | 委員 | <p>アンケート調査数、対象者選定方法を教えてください。</p> <p>過去のアンケート回答者に対しての質問が可能であるならば、項目として、以前にこのアンケートを回答したことがありますか?の問いや、コロナに関しての食生活の問いかけがありますが、アンケート回答後に食生活の変化があったかの質問ができたらと思いました。</p> | <p>(健康増進課) 市民意識調査数と選定方法については、会議資料と同封いたしました「議事(3)「食育に関する市民意識調査」について」に詳細を記載していますので、ご覧ください。</p> <p>また、今回、食生活における問題点の認識と改善の意思について尋ねています。市民意識調査の中で、自身の食生活を振り返ることにより、食生活を見直すきっかけとなっていればと期待しています。</p> |

| | | | |
|---|----|--|--|
| 4 | 委員 | 1日3食とる場合でも、朝昼晩の時間帯は関係ないのか。特に、中・高校生、学生や20代は夕食の時間とか夜食的なものをとっているのか聞いてみたい。 | <p>(健康増進課) 今回の市民意識調査では、全世代で朝食欠食の有無と、併せて小・中・高校生、専門・短大・大学生には起床時間と就寝時間を尋ねています。若い世代の食事の欠食と生活リズムの関連を明らかにできればと考えています。</p> <p>また、一般、中・高校生、専門・短大・大学生には、食生活で心がけていることについて「3食決まった時間に食事をする」を選択肢に尋ねています。中・高校生に対しては、夕食後の食事の摂取について尋ねていますので、これらの結果についても注視していきます。</p> |
|---|----|--|--|

| | | | |
|---|----|--|---|
| 5 | 委員 | <p>県の食育こころプランでは重点課題の第1項目が「若い世代への」とありますが、意識調査の結果を見ると小・中・高校生の食育認知度、食育に対する意識は低いので、依然として課題が残っている状況だと思いました。大人・親は子どもに対して食育しているつもりでも、子ども本人が重要性を受け止めていないのかもしれませんが。そのミスマッチを解消する必要があると思います。</p> <p>また、食育に興味関心がある人は自ら積極的に情報にアプローチしてメリットを享受していきませんが、そうでない人達が取り残されることが懸念されます。食育の重要性に気づいた時には身体が手遅れということもあり得るので、極論かもしれませんが、食育の格差が人生の格差につながってしまいかねないと思いました。ですので、引き続き食育の認知度を高めるためのPRが必要だと思います。どういうPRが効果的かを考える必要があります。例えば、今回の調査アンケートでも「食育に関心がありますか」の次に「食育に関心をもったきっかけは何ですか」の質問を設けるなど、市民と食育の接点がどこなのかもヒアリングすると良いと思いました。また、小中高校生用のアンケートでも、「それはなぜですか」系の質問を増やして良いと思います。どうしてそうなのか？を深掘りするためです。学生自身にも考えてもらいたいからです。また、調査結果がいつ頃どこで公表されるのかも冊子に載せると、食育への関心を高めるきっかけになると思います。せっかくアンケートを行うのだから、この調査そのものを食育の普及のきっかけに最大限活用すると良いと思いました。</p> | <p>(健康増進課) ライフスタイルや価値観の多様化、家族形態の変化などにより、個々の食育に取り組む機会や考えるきっかけも多様になっています。望ましい食習慣を身につけることができるよう、工夫して伝えていく必要があります。今回の市民意識調査では、主に実態把握ということと設問数の関係もあり、踏み込んだことは尋ねていませんが、一般と専門・短大・大学生に対して「食育・食生活に関する情報の入手先」について尋ねています。こちらの結果を踏まえ、若い世代へのアプローチ方法を検討するとともに、引き続き学校や地域と連携を図りながら、若い世代に対する食育啓発を行っていきます。</p> <p>市民意識調査票への結果公表日等の記載については、今後調査を実施する際は検討します。</p> |
| 6 | 委員 | <p>市民意識調査の項目で、「添加物や農薬のことを知っていますか？」 「赤肉や加工肉に発がん性があることを知っていますか（WHO発表）」 このぐらい踏み込んだアンケートもあっていいような…</p> | <p>(健康増進課) 今後、調査を実施する際の参考とさせていただきます。</p> |

(議事3) その他

意見・質問あり

| | | | |
|---|----|---|--|
| 1 | 委員 | 食育に関して勉強する機会を与えていただきありがとうございます。農業者の立場から食育というものを考えていきたいと思えます。よろしくお願ひします。 | (健康増進課) 食と農は密接なつながりがありますので、引き続き農業者の視点からご意見等をお聞かせください。 |
| 2 | 委員 | 健康クッキングの動画を見ました。野菜料理の作り方、レシピはありましたが、カロリーが書かれていたら良かったです。 健康寿命延伸のためにも、地域に住む独居老人が小学校の子どもと一緒に給食を食べる機会あればいいと思う。 | (健康増進課) 今後も分かりやすい動画を作成していきます。 コロナ禍で従来通りは難しい状況と聞いていますが、各地区社会福祉協議会と地域が連携し、独居高齢者等の地域で見守りが必要な方を対象とした会食会を行う取り組みが実施されています。世代間の交流・会食についてはご意見を参考にさせていただきます。 |
| 3 | 委員 | 中心市街地にて「こども食堂」開催のポスターを見かけました。長期間にわたるコロナの様々な規制の中で、前橋市においても食の貧困に直面している世帯があると聞いております。食育の観点からもある程度の実態を把握しておく必要があると思われます。 | (子育て支援課) 「子ども食堂」については、全国的に関心が高まっていることを感じます。本市においては、「子どもの居場所作り」という大枠で関係課と連絡を取り合い、対応を行っているところます。子ども食堂自体の事業につきましては、群馬県や群馬県社会福祉協議会とも連絡を取り合い、定期的に状況把握に努めます。 |
| 4 | 委員 | コロナ対応における様々な業務に対して、大変感謝してあります。ありがとうございます。 | (健康増進課) 今後も状況に応じた食育の取組を推進していきます。 |
| 5 | 委員 | 「食育に関する市民意識調査」について、小・中学校を追加、専門・短大・大学生に食育についてのアンケートを追加されたことは素晴らしいと思ひました。自分の家族周りの人たちの情報しか耳に入っていないので、アンケート調査をすることにより、より鮮明・具体的に分かるので良いと思ひました。 | (健康増進課) 前述のとおり、「将来を担う若い世代」を対象とした食育の推進は重点的に取り組むべき課題ます。食生活等の実態を把握、分析し、次期計画に反映していきます。 |

| | | | |
|---|----|---|--|
| 5 | 委員 | <p>まえばし食育プランの冊子拝見しました。群馬県でどれだけ安心・安全なお肉や卵、牛乳がありますか？今の人は食べすぎていると思います。食生活からくる病気、死亡原因がとても多い。ファストフード、お肉、牛乳、カロリーの高いものはたまに食べて、普段の食事は質素なものが大切だと示すことも重要だと思います。</p> <p>食育推進計画もさまざまな事業も、何を食べないかという視点も大切なのではないのでしょうか（難しいことなのかもしれませんが…）うその食べ物であふれています。</p> | <p>（健康増進課）本市においても日頃の食事や運動等の生活習慣の乱れによって引き起こす、生活習慣病が健康課題となっています。食事の基本は、個々の食生活の状況に応じた食事のバランスと自分の体格と活動量に見合った食事量（適量）を理解し実践できることだと考えますので、今後もこの観点から食育を推進していきます。</p> |
|---|----|---|--|